

## 上天草市史大矢野町編 4 天草の門（近現代編）目次

発刊の言葉

凡例

大矢野町のすがた

### 第一章 明治維新と大矢野

#### 第一節 維新の動乱と地域の変遷

明治維新／天草の動乱／長崎裁判所・天草県・長崎府・長崎県時代／八代県・白川県・熊本県時代

#### 第二節 佐賀の乱異聞

#### 第三節 西南戦争と大矢野の騒動

### 第二章 郡区長村制と市制町村制

#### 第一節 三新法と大矢野

大矢野にも公選の村戸長／湯島、維和の分村独立／戸長役場の機能

#### 第二節 市制町村制と大矢野

大矢野5か村は独立／町村制施行時の大矢野／新聞報道に見る大矢野の動き／海外発展に活路を求めた人たち／衛生啓蒙、防疫対策に率先した登立村

#### 第三節 「群制」と宇土郡への編入構想

九州日日新聞が宇土郡編入キャンペーン／語り継がれなかった警察署所轄変遷と登立分署書設置案

### 第三章 交通の近代化

#### 第一節 三角西港の築港

大矢野島飛岳の石材で築港／明治20年8月、三角西港が開港

#### 第二節 三角港始発の九州鉄道

明治32年、三角線が開業

#### 第三節 三角際崎の東新港誕生

三角港が第2種重要港湾に／三角港域の規模

#### 第四節 天草の海上交通

競争が激しかった天草沿岸の航路

#### 第五節 大矢野の海上交通

定期航路がスタート／明治23年、柴尾山に洋式灯台

#### 第六節 大矢野の道路

往還道 明治28年、県道富岡往還が着工／明治・大正の道路網／人力車から自動車へ／大正2年、大矢野でフォードが走る

### 第四章 日清・日露戦争と大矢野

## 第一節 日清戦争

朝鮮甲申事変と竹添公使／徴兵令への抵抗／天草報国義団の発足／回線と義勇録／大矢野から25人が出征、戦死者なし

## 第二節 日露戦争

満州の権益めぐり、ロシアと衝突／大矢野から116人が出征／出征した人たち

## 第五章 大矢野の教育 I (戦前の教育)

### 第一節 学生発布による教育の夜明け

### 第二節 教育の移り変わり

### 第三節 町内学校の歩み

登立小学校／維和小学校／上小学校／上小学校賤之女分校／上小学校野釜分校／大矢野高等小学校／中村小学校—中北小学校／中南小学校／生木南小学校江後分校／湯島小学校

### 第四節 社会教育の歩み

青年会／実業補習学校／同窓自脩会／通俗教区・補習教育

## 第六章 近代産業のおこり

### 第一節 農業

富国の為に地租改正／持つ者と持たざる者(地主制度と小作問題)／昭和33年までの干拓／ふるさとの特産品／水稻／麦／甘藷(カライモ)／サトウキビと黒砂糖／馬鈴薯／昭和11年から葉タバコ耕作／女性労働が支えた戦中の葉タバコ耕作

### 第二節 酪農

熊本県酪農の生誕地／大矢野は酪農組合の源流／明治期に外国産乳牛を導入／農家生産牛乳の誕生／生産調整から森永乳業誘致へ／県内畜産乳牛の70%が大矢野で

### 第三節 漁業

漁業権は地元漁民へ／明治8年の漁法の改革／旧慣への回帰／明治26年、天草郡漁業組合が創立／対象6年の大矢野地区5か村の漁業組合の運営／湯島村の実業補習学校設立／熊本県初の水産試験場が登立村に／クルマエビ養殖がスタート／朝鮮半島の沿岸まで出漁／10日以上かけて韓海へ／元上村七ツ割のマテ貝漁

### 第四節 商工業

工場誘致／大正期、県内トップのレンガ生産高／登立と中に瓦工場／登立に貝灰工場／大矢野にも清酒の蔵元／揚浜式塩田で製塩／戦前まであった大矢野の塩田／木造船づくりをリードした天草／大矢野町商工会の成立

### 第五節 鉱業

大矢野の特産砥石(流紋岩)古くから利用された飛岳の石／飛岳の採石間歩(採石現場)

## 第七章 暮らしの近代化

## 第一節 郵便と電信・電話

郵便局の産声／郵便の統廃合と近代化／明治27年、天草に電信開通／大正10年登立郵便局が電話業務開始

## 第二節 大矢野の電気

電燈導入の会議開催／維和地区への電燈導入は昭和3年から

## 第三節 医療

近代医学「伝授の場所」／明治の疾病系図／医療法人蘇心会竹島家歴代譜／医療法人社団松丸会島田小児科医院譜／医療法人仁寿会中村医院譜

## 第四節 警察・消防団の発足

警察機構／消防団

## 第五節 金融機関「予測された合併悲劇」

## 第八章 農村の窮乏と大矢野の力

### 第一節 奪われる農村部の自給自足生活

農業恐慌／節約決議

### 第二節 天草の農村事情

出稼ぎの意義／「カラユキさん」の時代／大矢野の出稼ぎ／半農半漁の力

### 第三節 天災に泣く

干害の救済手続き

## 第九章 十五年戦争と銃後

### 第一節 満州事変から日中戦争へ

演習のための増税／満州開拓の受難／統制とファシズム／二・二六事件の波紋／三角港の軍艦見物に1万5千人

### 第二節 戦時経済体制強化と国民生活の破綻

食料、日用品、個人の生活にまで統制／農漁村は人手不足が深刻化／銃後を支えた女性たち／大政翼賛会天草支部が発足／大日本婦人会天草支部の結成／農業共済の前進、天草農業保険組合を設立／生活必需品まで配給と切符制に／京城からの便り

### 第三節 日米開戦と天草

九州防衛作戦に天草も組み込まれる／アメリカ軍の九州侵攻作戦／昭和12～20年に登立から1123人が出征／鍋・釜・ボタンまで金属回収／バケツリレーで防火訓練／大矢野は後方支援基地に／配給制度を支えた供出制度

## 第十章 戦時下・終戦時の大矢野

### 第一節 座談会—戦中・戦後を語る—

### 第二節 戦時下の学校

出征兵士見送りと遺骨迎え／昭和16年忍び寄る大戦の足音／昭和17年高まる戦勝ムード／昭和18年強まる軍国主義教育／昭和19年戦争に巻き込まれていく学校／昭和20年追い詰められ、散りぢりとなる学校

## 第十一章 大矢野の教育 I I (小学校の復活と中学校の設立)

### 第一節 国民学校から小学校へ

登立小学校／維和小学校／上小学校／上小学校野釜分校／中北小学校 中南小学校／中南小学校江後分校／湯島小学校／上北小学校

### 第二節 新制中学校の発足

### 第三節 町内各中学校の歩みと発展

大矢野中学校／維和中学校／湯島中学校

### 第四節 天草農業高校大矢野分校

### 第五節 大矢野高等学校

### 第六節 戦後の社会教育

青年学級／家庭教育学級／中央公民館／森記念図書館／総合体育館

## 第十二章 大矢野町の成立

### 第一節 町村合併促進法と大矢野の町村合併促進

町村合併揺籃期の大矢野／町村合併促進委員会とその後の経緯／住民側の憂慮／合併促進の最終章

### 第二節 大矢野町の発足

新町建設計画と初年度の赤字決算／自主財政再建の県指定

### 第三節 町村合併の効果

## 第十三章 天草五橋の建設

### 第一節 離島天草の宿命

### 第二節 天草架橋の発議

森慈秀の架橋建議

### 第三節 架橋期成会と町後援会

天草架橋期成会の発足／天草架橋大矢野町後援会の結成

### 第四節 天草架橋の建設経過

### 第五節 天草五橋の完成とその影響

開通直後とその波紋／天草五橋の総合的評価と問題

## 第十四章 経済成長と過疎化

### 第一節 農業の近代化

農業の零細化／農業にも機械化の波／農業の転換点／離農への動き／大矢野の農業構造改革事業／総合農政の展開

### 第二節 戦後の農産物

グリーンピース／柑橘／花卉栽培／花の危機／花づくりの追及

### 第三節 農業協同組合の成立

農協のルーツ／農業協同組合の成立／旧町村の農協／県内最大・第1号の農業協同組合誕生／JAあまくさの誕生

### 第四節 漁業の近代化

大矢野町漁協の誕生／クルマエビおよびワカメの人工孵化・稚エビ養育の技術革新／大矢野町の真珠養殖業／大矢野町進出の真珠養殖の企業／大矢野町における真珠養殖の変遷／国・県・町の農業水産振興

#### 第五節 商工業

砥石産業の変遷／大矢野石材の活用／戦後の大矢野の造船業／大矢野の海運業／戦後の商工会／五橋開通前後の大矢野町の商工業

#### 第六節 観光

観光資源／観光開発の経過／観光大矢野の問題点

#### 第七節 町民生活の変容

大矢野の住宅事情／大矢野の水事情および上水道の整備／広域水道／三種の神器／オイルショック／過疎と高齢・少子化・核家族化／バブルと平成不況／大矢野警察署の誕生／消防団

### 第十五章 平成の合併

#### 第一節 合併の必要性

#### 第二節 任意協（天草上島四町合併推進協議会）発足までの経緯

幻の「五橋市」構想／天草は一つか／上天草四町合併推進協議会の発足

#### 第三節 法定協（天草上島四町合併協議会）の発足

上天草市誕生までの歩み

### 第十六章 人物

#### 第一節 大矢野の先達

値賀盛純／竹添進一郎／道永エイ／日高武六／吉田家親子三代（吉田宗徳、吉田宗雄、吉田宗孝）／山崎若松／森慈秀／田中勘藏親子二代（田中勘藏、二代目田中勘藏）／藤島敬介／水野清一／二神勇雄／梅崎保男／宮本研／その他の群像

#### 第二節 大矢野ゆかりの文人墨客

徳富蘇峰／与謝野晶子／森田恒友／石井柏亭／龍清六／橋本徳壽／東郷青児／築山節生／松本清張／北条誠／荒木精之／山口白陽／劉寒吉／檀一雄／宮崎康平

### 参考文献

お世話になった方々

編纂市議会・編纂委員・近現代執筆委員

あとがき

大矢野近代年表